

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【公開番号】特開 2010-197048 (P2010-197048A)

【公開日】平成 22 年 9 月 9 日 (2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報 2010-036

【出願番号】特願 2009-38622 (P2009-38622)

【国際特許分類】

G 0 1 N 35/02 (2006.01)

G 0 1 N 35/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/02 G

G 0 1 N 35/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 13 日 (2012.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記目的を達成するために、本発明の自動分析装置は、試料及び試薬を反応容器に分注して、その混合液を測定する自動分析装置において、前記試料を収容する試料容器を保持したラックが配列載置されるトレイと、前記トレイ上に載置された前記ラックをこのラックの配列方向以外の方向へ引き出して、前記試料容器内の試料の吸引が可能な吸引位置へ移動する移動手段と、前記移動手段により前記トレイ上から引き出される前記ラックが通過する開口部を前記配列方向へ移動可能に設けた前記移動手段を覆う遮蔽手段と、前記ラックが通過するとき以外に閉じている前記開口部を開閉する開閉手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料及び試薬を反応容器に分注して、その混合液を測定する自動分析装置において、前記試料を収容する試料容器を保持したラックが配列載置されるトレイと、前記トレイ上に載置された前記ラックをこのラックの配列方向以外の方向へ引き出して、前記試料容器内の試料の吸引が可能な吸引位置へ移動する移動手段と、前記移動手段により前記トレイ上から引き出される前記ラックが通過する開口部を前記配列方向へ移動可能に設けた前記移動手段を覆う遮蔽手段と、前記ラックが通過するとき以外に閉じている前記開口部を開閉する開閉手段とを備えたことを特徴とする自動分析装置。

【請求項 2】

前記ラックは、前記試料容器を 1 列に並べて保持可能な複数の開口部を有し、

前記移動手段は、前記トレイ上に載置された前記ラックをこのラックに保持される前記試料容器の配列方向へ引き出すようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の自動分析装

置。

【請求項 3】

前記ラックは、前記配列方向への移動不可能に前記トレイ上に載置されることを特徴とする請求項 1 に記載の自動分析装置。

【請求項 4】

前記トレイは、前記自動分析装置の前側に配置され、

前記開口部は、前記トレイの後方の近傍に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の自動分析装置。

【請求項 5】

前記ラックに取り付けられたそのラックの識別情報を読み取る読み取り手段を有し、

前記開閉手段は、前記読み取り手段により読み取られた前記ラックの後方に移動された前記開口部を開閉するようにしたことを特徴とする請求項 4 に記載の自動分析装置。

【請求項 6】

前記読み取り手段は、前記トレイの下方を前記配列方向に移動可能に配置されていることを特徴とする請求項 5 に記載の自動分析装置。

【請求項 7】

前記識別情報は、前記ラックに取り付けられた IC チップに書き換え可能に書き込まれ

、

前記読み取り手段は、前記 IC チップに書き込まれた前記識別情報を非接触的に読み取るようにしたことを特徴とする請求項 5 に記載の自動分析装置。

【請求項 8】

前記ラックが載置される前記トレイの位置を設定する位置設定手段を有し、

前記開閉手段は、前記位置設定手段により設定された前記トレイの位置へ移動された前記開口部を開閉するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の自動分析装置。